

住宅政策の具体的な方向について検討を行い、今後の施策や地域の特性を生かした「ゆとりと魅力ある居住環境」の方針を整理し、府中市らしい豊かなライフスタイルとコミュニティの維持・向上を図ることで、安全で安心して暮らし続けられるまちの構築を実現させる。

■ 中心市街地
公共公益施設が多く、古くから中心であった地域。



■ 住宅団地
高度成長期に造成され高齢化が進んでいる既存の団地。

■ 計画等における位置付け

第5次府中市総合計画における「基本目標4：安全・安心が持続するまち」、府中市住生活基本計画における将来都市像に位置付ける。

■ 地域特性・資源

昭和40～50年代に急速に産業が発展した内陸工業都市であり、現在においてもその傾向がみられる。河川と山に囲まれ緑豊かな市街地であり、生活の基盤は整備されつつある。

■ 地区の現況・課題

昭和50年頃をピークに人口減少・少子高齢化が進んでおり、コミュニティが希薄化し居住環境の質も低下しつつある。

■ 目指すべき居住環境

働く場所や学ぶ場所と住む場所が近接し、日常生活に必要な機能が身近にあることで、子育て世帯などにおいては利便性の高い暮らしが実現し、良好なコミュニティが保たれたゆとりと魅力ある居住環境を創出する。



■ 実現に向けた取組予定

- ・住民アンケートや企業アンケートなどの調査(別途取組)
- ・住宅政策の基本方針と地域別構想の策定
- ・地域の居住環境創出に向けた支援制度の検討(令和5年度以降)
- ・子育て世帯を対象とした住宅整備の検討(令和6年度以降)

■ 連携する関係団体

公益社団法人広島県宅地建物取引業協会

■ スケジュール

R4	R5	R6～
・地域ごとの居住環境の基本方針(将来ビジョン)を設定	将来ビジョンに即した事業手法や支援制度の検討	子育て世帯を対象とした住宅の整備